

留学体験記

東南大学

国際文化交流学部 小山あゆみ

留学期間：2025年9月17日～2026年1月25日

私は3年生後期に中国の南京市にある東南大学に半年間留学しました。一度行ったことがあったので、空港から大学まではスムーズに地下鉄を利用して行きました。荷物が重いのでタクシーも考えましたが、中国語に自信がなかったので呼ぶ勇気はありませんでした。

授業のクラスは中級でした。クラスメートはベラルーシの学生がほとんどで、日本人は私だけです。科目は読解、聴力、口語、写作の4つで週に2回ずつです。時間割の関係で金曜日は全休でした。授業は中国語で行われますが、教科書があれば、だいたいどんな話か分かるので、私は最初から授業内容の7、80%は聞き取れました。授業中に発言するのが最初は怖かったけど、間違えても大丈夫！という空気だったので後半は積極的に発言するようになりました。苦労したのはむしろ日常会話のほうで、現地の学生と交流する機会がなく、ベラルーシの友達かルームメイトと会話の練習をしていました。帰国までの一か月で、日本語学科の学生と一緒に遊びに行ったり、アジア出身の院生の方たちとカラオケに行ったりすることができて、とても楽しかったです。また、日本人の院生の友達と上海ディズニーランドと外灘にも行きました。留学中の一番の思い出です。

九龙湖キャンパスにはキャンパス内にスーパーやコンビニがあり、ネットで買い物もできるので、困ったことはありませんでした。寮は2人1部屋で、工事されて新しくなったのでとても綺麗でした。ご飯は基本的に食堂を利用していました。学内にはエリアごとに食堂があるので、色々な食堂に行くのは楽しいです。日常生活で一番困ったのは洗濯で、洗濯機を使うのに専用のアプリが必要なのですが、ダウンロードすらできなくて、半年間ルームメイトか院生の友達に助けてもらっていました。

日中の政治関係があまりよくない時期でしたが、現地の人はとても優しく、日本が好きな人もいました。

1人で日本語の通じない場所にいるというのは少し不安でしたが、先生方や友達がたくさん助けてくれて、本当に素敵な時間を過ごすことができました！また、中国語学習へのモチベーションもより高まりました。東南大学に留学できて本当に良かったです。

